

平成20年度
第1回 温海地域審議会
会議録（概要）

期日：平成20年5月27日（火）

場所：鶴岡市温海庁舎 6階大会議室

平成20年度 第1回温海地域審議会 会議録（概要）

○期 日 平成20年5月27日（火）午前10時～

○場 所 鶴岡市温海庁舎 6階大会議室

○出席委員（五十音順）

五十嵐一彦、五十嵐孝昭、五十嵐時雄、五十嵐英夫、榎本 満、劔持孝一
齋藤幸子、佐々木真人、佐藤小一、佐藤重夫、藤谷 隆、本間紀枝子
本間紀美子、本間儀左衛門、本間文夫、三浦 仁、

○欠席委員

伊藤 貢、齋藤金一、佐藤満也、野尻貴也

○市出席者

温海庁舎 支所長 五十嵐收一、総務課長 伊藤彦市、政策企画室長 粕谷一豊
市民福祉課長 本間節子、税務市民主幹 五十嵐金悟
産業課長 本間新一、建設環境課長 相澤康夫、教育課長 鈴木金右エ門
総務課主査 三浦市樹、総務課主査 白幡 俊、総務課調整主任 本間克秀

本 所 政策調整室長 石山健一、調整課長 柴田昌明、政策調査課長 渡邊 純
政策調整室主査 本間光夫、政策調整室主査 宮崎清男

○次 第

一 辞令交付・委員紹介 一

1. 開 会

2. 支所長あいさつ

3. 会長・副会長の選出

4. 報告事項

（1）平成20年度予算の概要について（別冊資料1）

（2）平成20年度の主な事業の概要について（別冊資料2）

（3）事務事業調整の調整状況について（別冊資料3）

5. その他

6. 閉 会

【会議の概要】

1. 開 会 (午前10時) (総務課長)

2. 支所長あいさつ (支所長)

3. 会長・副会長の選出

○支所長

会長・副会長の選任については、合併協議書第6条第1項の規定により、委員の互選によることとなっておりますが、いかが取り計らったらよろしいでしょうか。

○三浦仁委員

事務局に原案があれば出していただきたい。

○支所長

ただいま、事務局の案という発言がございました。事務局からご推薦させていただいてよろしいでしょうか。

(意義なし)

○総務課長

会長に本間文夫委員、副会長に佐藤重夫委員をご推薦いたします。

(意義なし)

○支所長

ご異議ございませんでしたので、会長に本間文夫委員、副会長に佐藤重夫委員をお願いいたします。

○本間文夫会長 (就任あいさつ)

4. 報告事項

○本間文夫会長

4. 報告事項に入ります。(1)(2)(3)は関連しますので一括して報告し、その後に質疑を行います。当局より説明してください。

- (1) 平成20年度予算の概要について (総務課長説明)
- (2) 平成20年度の主な事業の概要について (各担当課長説明)
- (3) 事務事業調整の調整状況について (政策調整室調整課長説明)

○本間文夫会長

報告事項の(1)から(3)について、ご質問ございませんか。

○佐藤重夫副会長

二点ほどお願いします。第一点は新規事業の温海地域人材育成推進事業について、地域活性化のために人材育成が大事だと思います。内容について説明をお願いします。もう一点は、鼠ヶ関小学校の改築事業です。建築確認事務が遅れているようです。平成20年度中の竣工予定のようですが、今年度の卒業式に間に合うのか心配しています。説明をお願いします。

○総務課長

人材育成推進事業の一つは地域づくり事業で、地域資源の掘り起こしや活用により、新たに活力を生み出す魅力づくりです。地域の伝統文化、交流イベント、共同チャレンジショップなど新たな取組みに対する支援事業として予定しています。もう一つは人づくり事業で、地域づくりに関する研修をテーマに自らの企画立案した研修事業に支援します。これは地域づくりに取り組むグループを対象に、研修後に具体的な活動に結びつく内容のものと考えております。

補助対象団体としては、温海地域に住所又は勤務地を有する者を中心としたグループ、非営利目的で継続した活動が可能なグループとしております。補助金の額としては、地域づくり事業については上限を20万円とし、かつ補助対象経費の2分の1以内。人づくり事業については、一人当たり10万円を上限に団体としての上限は50万円、補助対象経費の2分の1以内としております。対象経費等は、講師謝礼・消耗品・借上げ料などでございます。

○教育課長

鼠ヶ関小学校改築事業につきましては、耐震構造の審査が制度的にも厳しくなり、木造の耐震の証明に時間がかかっていると聞いております。なお、この工事の主管は本所建築課で鋭意工事が進められております。

当初予定した今年度中の竣工につきましては、現在、全工程の見直しを図っており、間に合うスケジュールを立てて、それが可能か定期的に見直しをすると聞いております。今の段階で、必ず間に合うとか間に合わないとかの判断は出来かねるということでございました。極力間に合うように努力したいということですので、ご理解いただきたいと思っております。

○佐藤重夫副会長

総務課の温海地域人材育成事業ですが、今年度事業の中で具体的に進んでいますか。

○総務課長

この事業につきましては、4月の自治会長会で説明して応募を募ると共に、庁舎内部に設置した集落振興プロジェクトチームの提案と連携して、今後進めていきたいと思っております。

○本間紀美子委員

行政から依頼されて母子保健事業で林業センターに出向く活動があります。2階大会議室のブラインドが開閉できない状態になっており、午後の時間帯に強い西日を受けながらの歯科検診を実施しています。各種行事で使用頻度も多いようです。林業センター改修事業で計画いただけますか、それとも公民館類似施設運営育成事業にも設備の修繕に支援するような説明もありました。検討いただきたいと思っております。

○産業課長

林業センターの改修計画につきましては、平成17年・18年に全体計画を組み立てております。事業内容は、電気設備キューピクルの交換・玄関屋根の改修・屋根防水改修・外壁塗装・ブラインド交換・暖房設備更新・備品更新を計画しております。

すでに電気設備は18年度に実施してございますし、暖房設備は19年度に実施済みでございます。20年度は玄関屋根のポーチ幕部分を予算化しております。

ブラインドの状況も確認しており、悪くはなっておりますが、今後の年度計画に組み入れながら進めていくということでご理解いただきたいと思っております。

○教育課長

公民館類似施設等の運営育成関係でございますが、社会教育法の中で市が設置するものが公民館で、それ以外のいわゆる自治公民館が公民館類似施設ということでご理解いただきたいと思っております。

なお、林業センターは市の産業課所管の施設なので、この修繕等につきましては補助ではなくて市が工事することになります。そのほかの自治公民館につきましては、この公民館類似施設の施設修繕として、それぞれの要綱の補助率に基づいて補助しておりますのでご理解いただきたいと思っております。

○本間紀美子委員

ブラインドについては20年度以降になるとのことですが、修繕を検討していただくなら、新たな取付けの仕方の検討をお願いします。強い日差しを受ける西側の方だけでも早めに検討いただきたいと思っております。

○本間文夫会長

ただ今の件は要望とします。

○五十嵐時雄委員

合併して悪くなった点は、福祉分野で重度障害者等介護者激励金が鶴岡市の例によって廃止になったということです。私は身体障害者相談員として、重度障害者の介護者から深刻な相談を受けた経験があります。いくらかでも差し上げることができないでしょうか。

また、合併して良くなった点は、重度心身障害者に対するタクシー券の交付枚数の増です。合併前の温海は12枚くらいだったと思います。若干良くなった半面、交付基準が等級1級から3級になりました。4級くらいまで引き上げるように働きかけをしていただきたい。航空運賃とか有料道路等の割引も4級までは該当するようです。

○市民福祉課長

重度障害者等介護者激励金につきましては、旧温海町においては実施していない事業でございます。旧鶴岡市でも行っていない事業であり、藤島地域、羽黒地域で行われていた事業と記憶しています。この事業につきましては、合併調整の基本的な考えにあるように、金品等の交付から市民の所得の増大と利便性をもたらす環境づくりへの移行ということで、皆さんに公平にもたらすような事業に転換していこうと調整されたものでございます。

それからタクシー券の件でございますが、交付基準を4級まで引き上げられないかという要望ということで分科会に報告したいと思っております。

○藤谷隆委員

温海温泉の公衆便所が目立たない場所にあり、足湯のお客様から近所の方にトイレを貸してくださいということが多数あります。公衆便所が熊野神社や朝市広場にありますがという案内板を設置していただけないでしょうか。せっかくある公衆便所が目立たないために、近所に迷惑が掛かっているような実情が報告されています。ご検討いただきたいと思っております。

○建設環境課長

あつみ温泉の公衆便所の建物自体が目立たないということと、案内板が足りないというご指摘かと思っております。この問題につきましては、これからくらしのみちゾーン関係の地元の方々とソフト事業を通じて実際に現地を見て、それに基づいてどのような整備が望ましいのかということをお聞きして、計画策定に反映させてまいりたいと考えております。

○佐々木真人委員

合併調整事務の未調整の中にコミュニティー関係が多く残っているようです。

旧温海町のときに自治会費の軽減の検討に入る入口のところで合併してそのままになっています。温海温泉の不在屋主の方々から、住んでいる町内会の会費が月 500 円程度で、どうして住んでいない家の会費が年 1 万円を超えるのか、他では防犯灯や街灯などの修理修繕や電気代も市が負担しているという話がありました。町内会と自治会とどのくらい内容の差があるのか、せめて街灯の維持管理費など基本的な調整をお願いしたい。

○総務課長

町内会と自治会の負担の関係でございますが、事業内容や人件費等の関係でさまざまなケースがございます。例えば旧鶴岡市の町内会に対する運営補助金は均等割 3 万 7 千円に世帯割です。藤島や羽黒では町内会長報酬という形で実施しておりますし、櫛引・温海では自治振興交付金、自治会に対する直接的な費用を交付しており、さまざまでございます。

防犯灯につきましても、温海であれば設置は行政で設置しますが、設置後については各自治会で賄っていただいています。また、設置したものに対して補助金を交付する地域もございます。

自治会や町内会に対する運営補助金交付事務と防犯灯新設補助事業・防犯灯新設事業・防犯灯補助金交付事務の防犯灯関連の三つについては未調整になっております。特に町内会や自治会に対する運営交付金につきましては、温海であれば総合交付金の中に水道料やさまざまな管理料全部入れて総合交付金として交付しております。他の地域では、町内会への直接的な支援のほかにも別予算で担当課から交付されていたり、委託料で交付されていたり、比較が難しい状況でございます。

現在、分科会の中で町内会や自治会が全額使えるお金がいくらなのか、経費の部分を比較して検討しており、防犯灯も含めまして現在調整中でございますので、ご理解のほどお願いいたします。

○本間文夫会長

コミュニティー組織の未調整項目の 24 は、その地域その地域の生き方があるので、あわてて調整するものではないと思います。

○佐々木真人委員

もう一点ですが、先程の未調整項目の中の水道料金の料金体系です。6 月議会で決まって 9 月の検針から実施されるようですが、温海温泉の共同浴場の水道料金については旧温海町から 4 分の 3 の免除をいただいて運営してきました。

19 年度の水道料金は 55 万 5 千円で、これが普通であれば 222 万円だそうです。そ

れが9月から変わることがわかりました。しかし、水道部からはこのように変わりますという説明がありません。もう6月議会はすぐです。水道部から連絡があってもいいのではないのでしょうか、もう少し具体的な話をさせていただければありがたいと思います。

○支所長

水道料金の件につきましては、経営審議会から答申をいただき、その中で付帯意見として激変緩和への政策的な配慮という一項目が答申の文書の中に入っております。5月8日に議会の会派代表者の方々に説明した範囲の資料では、激変緩和として統一料金が現行料金の30%以上の引き上げとなる対象者をメドにしているようございます。また、その期間は1年くらいの措置を検討しているようでございます。

公衆浴場の件ですが、温海地域に3箇所あり、湯野浜・湯田川・由良を含めると9箇所ございます。これをどのような軽減措置を図るかを激変緩和の中で検討しているようでございます。最終的にどのくらい減免されるか、軽減措置が図られるかは、まだ詳しい説明を受けておりません。

なお、統一料金の30%以上の引き上げとなる対象者を減免するとすると、鶴岡市全体で5万6千件ほどの対象の中の約4千件、7%くらいが激変緩和措置の対象になるようです。温海地域では3千600件ほどの対象の中の約600件、16%くらいが激変緩和措置の対象になるようです。温海地域だけ大幅に上がる訳ではございません。鶴岡・藤島・羽黒・櫛引・朝日のそれぞれの地域を含めた約5万6千件の激変緩和できる範囲の検討作業をしていると聞いております。水道部としては相当の労力を使って激変緩和措置を検討していると聞いております。

○本間儀左衛門委員

鶴岡温海間の日浴道の工事について着々と進めていただいていること、くらしのみちゾーン整備事業は正規のオープンにはなっていませんが、週末を中心にお客様が訪れ、確実に喜んでいただいていることに感謝を申し上げます。

お願いしたいことが三つあります。一番目は、羽越本線の在来線の高速化、新潟駅での同一ホーム乗り換えの事業の促進です。平成17年のJR脱線事故により風に弱い羽越線というアナウンス効果の影響を痛感しています。ぜひ、強力で押し進めをいただきたい。

二番目は、日浴道鶴岡温海間の温海インターの名称です。JRあつみ温泉駅と同様にあつみ温泉インターにさせていただきたい。これが実現しますと、温泉が入ったインター名では全国で最初になるはずです。

それから、三番目、この件だけのご回答いただきたい。くらしのみちゾーン事業に少しやわらかい形でのペットネームといった考え方ができないでしょうか、堀先生ともご相談をいただいて、地域の方々から愛される、次の代まで愛されるようなペット

ネームを検討していただきたい。

○建設環境課長

くらしのみちゾーンの愛称のご要望だと思います。くらしのみちゾーンの整備が未完成ですので、今後、完成に向けたハード事業そしてソフト事業を組み合わせながら、住民のみなさんと行政とが一体となって進めていきたいと考えております。その中で議論をさせていただき、住民の皆さんがこぞって喜ぶ、あるいは、訪れた方々から愛されるような愛称でありたいと思いますので、これから議論を進めていきたいと思っております。

○本間紀美子委員

予算特集号に学校教育の新規事業で大都市の児童生徒を市が招待する体験活動があるようです。こちらの児童生徒も大都市の子供たちとふれあう交流活動は学ぶ点が多くあると思います。有意義な事業にしてください。

それから広報温海版ですが、現在A4サイズ両面刷り1枚ですが、A3サイズ両面刷り1枚にすると、今までの倍以上の地域情報が提供されると思います。検討いただきたいと思います。

○総務課長

広報温海版の紙面を増やしてほしいという要望でございますが、鶴岡市全体の広報の中で温海地域をPRしていくことも非常に重要かと思っております。このA4サイズ両面刷り1枚は温海地域版ということで、温海地域特定の部数なのでその辺の兼ね合いの中で検討していきたいと思っております。

○五十嵐一彦委員

市がPTAの研修会に関する助成金の話がありまして、温海地区小中学校5校が合同で研修する場合は5万円を助成するという内容でした。知ったのがつい最近で、すでに各単Pでは事業計画をたてているところもありました。小規模校で活用したかったのですが、すでにもう研修を計画している学校もあり、今年度は難しいということがありました。

また、温海地区には小中学校PTAの連絡調整する機関がなく、去年1年間活動してかなり不便な面を感じました。できれば温海地区小中学校のPTAが連絡調整できるような機関を作ってくれるよう配慮していただきたいと思っております。

○教育課長

市P連の関係はお話を承っておりますし、研修補助の関係につきましては、こちらでも一部情報の把握が遅れたということで、関係者にご不便をおかけしたことをお詫び

したいと思います。実際の事業については社会教育課でも相談に応じるそうなので、今年度の研修につきましてはそれぞれ連携しながら、取り組めるようにしてまいりたいと思います。

また、温海地区PTAの新たな組織化ということですが、以前は確かに温海だけの連Pがありましたが、合併調整の中で解散した経過があるようです。実際、PTAの中でそういう連携がぜひ必要だということであれば、組織化しないで年に何回か代表者から集まってもらうとか、それとも組織化した方がいいのかも含めまして、関係者の皆さんと相談してまいりたいと思います。

○五十嵐英夫委員

鼠ヶ関小学校改築事業の完成後の環境整備については、市が行うものとそれ以外のものがあると思います。例えば、セキュリティの問題、フェンスの問題などは市からやってもらえると思います。それ以外のもの、例えば植栽の問題などについて、地元が計画を立てて取り組まなければならないこともあると思います。

今、この席で説明していただかなくても結構ですので、後ほど、これは市で持ちます、これ以外は地元で計画してもらいたいというような話し合いができるような機会をぜひ作ってもらいたいと思います。

○本間文夫会長

ただ今の件は要望のようです。それでは、特にないようであれば議事を終了したいと思います。これをもちまして本日の温海地域審議会第1回目を終了させていただきます。委員のみなさま本当にありがとうございました。

5. その他

6. 閉 会 (正午) (総務課長)